



しこく
四国財務局公式キャラクター

ニュースリリース

～四国とともに、未来をつむぐ～

四国財務局

令和7年3月12日

第84回 法人企業景気予測調査結果（四国地方の概要） （令和7年1～3月期調査）

企業の景況判断は2期ぶりに「下降」超

【景況判断】

全産業の景況判断BSI（1～3月期）については、物価高による買い控えや、原材料費・光熱費などの各種コストの高騰などから、▲3.8%（前回の4.6%から8.4%下降）となり、「下降」超に転じる。

先行き（翌期）については、需要の増加や価格転嫁の進展などから、「上昇」超に転じる見通し。

製造業：前回4.1% ⇒ 今回▲3.4%（7.5%下降、下降超に転じる）

「**金属製品**」：原材料費や光熱費の高騰などから下降超に転じる

「**木材・木製品**」：物価高やローン金利上昇による住宅需要の減少などから下降超に転じる

「**化学**」：受注の増加や価格転嫁の進展などから上昇超となる

非製造業：前回4.9% ⇒ 今回▲4.1%（9.0%下降、下降超に転じる）

「**宿泊、飲食サービス**」：食材費や光熱費の高騰などから下降超に転じる

「**農林水産**」：飼料費や光熱費の高騰などから下降超幅が拡大

「**不動産**」：テナント収入の増加などから上昇超幅が拡大

【従業員数判断】

全産業の従業員数判断BSI（1～3月期）については、引き続き多くの業種で人手不足感があることから、36.3%（前回の37.7%から1.4%下降）となり、「不足気味」超となっている。

先行き（翌期）については、新規採用により人員確保のめどが立っているという声もあり、「不足気味」超幅が縮小する見通し。

【問い合わせ先】

四国財務局 財務広報相談室
四国財務局 経済調査課

TEL087-811-7780（内線260）
TEL087-811-7780（内線250）

